

第27回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月21日 18時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第27回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・今朝、急遽、本部長と市村政務官と共に石巻市を視察してきた。
- ・総理が知事、石巻市長、東松島市長と災害復旧対策について電話で会談。

○小野寺危機管理監

- ・死者4,483名、行方不明者3,265名、
- ・被害者情報ダイヤルの開設は3月22日16時。それ以降は9時～21時まで。

電話5回線で実施。

○仙台管区气象台

- ・明日弱い雨が続く。気温が上がらない状態。朝の気温は氷点下が続く。

○佐藤企画部長

- ・都道府県からの支援物資は、24県計46便。様々な生活物資の支援を受けてい

る。

- ・仙台市内の倉庫に確保する形を取っている。食料品が不足しているため食料品の優先支援をお願いしている。倉庫の能力も限界もあるので、なるべく市町に直接搬送するよう調整している。

○小泉環境生活部長

- ・ご遺体の火葬について、秋田県、栃木県で受入可能とのこと。
- ・福島第一原発事故について、本日の調査の値は昨日より下がっている。山元町の数値は3月16日の3分の1の値に低下している。

○岡部保健福祉部長

- ・障害者福祉施設について、相当数の施設から5,300人の受入可能と返答を受けている。
- ・医療救護班応援チーム56チームから59チームに増加している。
- ・保健師チーム37から40に増加している。

○河端経済商工観光部長

- ・JX仙台精油所のドラム缶での搬送は昨日で終了した。（タンクローリーでの搬送が可能となったため。）
- ・塩竈輸送所は10時55分に2,000キロリットル入荷した。

○千葉農林水産部長

- ・排水施設の損壊等で被害額7億円積み上げ。

- ・仙台空港北側の冠水箇所については、東北農政局、東北地方整備局の協力により、障害物を除去して一部通水が可能となった。
- ・民間船による支援物資の搬入について、巻き網船3隻が石巻漁港に入港している。物資や水、食料品が中心。
- ・本日、志津川漁港で110立米程度の障害物除去実施。その過程でご遺体1体発見。
- ・農業公社が、使用困難な牛の受入れについて明日その第1弾として15頭を北上町の農家から受け入れる。
- ・家畜の燃料とえさは細々とつないでいる状況、大量死という事態には至っていない。

○橋本土木部長

- ・仙台空港について、21日、米軍隊の宿泊スペースを仙台空港ビルに確保。仙台空港の電力確保に向け関係者と協議開始。
- ・阿武隈川下流域については、毎分60tのうち暫定能力の26tで排水中。
- ・6,600ボルトの早期復電を東北電力にお願いしたい。
- ・東部流域については9tで排水中。
- ・22日、仙南浄化センターの被害状況をマスコミに公開予定。
- ・22日、被災住宅相談窓口を建築宅地課、土木事務所、土木地域事務所に設置。

○村井災害対策本部長

- ・兵庫県知事から「無秩序にみなさんが家を建て始めると全く整備も出来なくなる」とのアドバイスがあり、規制を考えているのでご理解願いたい。

- ・流域下水道で一番大きな問題は電気。東北電力には、優先順位を上げてお願いしたい。空港、下水、港湾関係についてもよろしくお願いしたい。

○自衛隊

- ・生活支援として、116,300食、炊き出し6,000食、水88t、燃料1,007キロ。
- ・ご遺体の収容、56体。

○竹内警察本部長

- ・収容後の遺体は5,364体で、120体増加。若干ペースが落ちているが、回収にやや手間取るようなご遺体が増えている。
- ・関係機関からの絶大なる御協力を得て、収容場所として夢メッセ、宮城スタジアム、グランディ21サブアリーナなどが使える目途が立った。警察学校のグラウンドや女川の総合グラウンドを足して、この5箇所と既存の場所を足すと、15,000体くらいは収容できると思われる。しかし、それで十分かどうかは予断を許さない。
- ・ご遺族への引渡は比較的進んでおり、28%くらいは引き渡している。
- ・犠牲者の所持品の情報もホームページにアップしている。
- ・行方不明者相談ダイヤル30,282名相談を受け、確認されたのは7,523名。
- ・交通規制について、災害対策基本法に基づいて出しているが、明日10時から1ヶ月は、道路交通法第8条によるものとする。
- ・今後、車両ナンバーにより自動的に通すようになる。（1ナンバー（大型トラック）2ナンバー（大型バス）8ナンバー（特殊自動車））
- ・3、4、5ナンバーの従来の災害応急対策の車両については、現場の判断になる。

○東北電力（株）

- ・ 停電状況 149,249 戸， 停電率 10%。
- ・ 津波等で流出した変電所については，仮設の変電所設置に向け調査中。

○仙台市ガス局

- ・ 23日から順次ガスが使えるようになる。
- ・ 港工場は液化天然ガス（LNG），パイプラインの天然ガスの二つのラインがある。
- ・ LNGは復旧の目途が立っていない。パイプラインは損傷が少なく，運営管理の石油資源開発さんの協力を得て，36万戸への供給に必要な天然ガスを調達可能とのことで，ガス供給の目途が立った。
- ・ LNGとは，天然ガスをマイナス160度に冷やし，液化させて保存したりするもの。
- ・ 今までは天然ガスを1／3ほど混ぜて供給していたが，今回は全部天然ガス。供給を優先とした。
- ・ 具体的な手順，実施体制については明日，マスコミに公表したい。
- ・ 沿岸部やガス管の被害が甚大な地域を除き，1ヶ月～1ヶ月半でガスを復旧させたい。
- ・ 3月27日ごろには3,000名の動員で，1件1件ガスの供給を確認していく。
- ・ 3月23日から災害拠点病院2カ所に供給。3月24日から住宅も供給増加してくる。
- ・ 具体的な供給エリアは前日中までに公表。

○東北経済産業局

- ・ 石油元売り会社からの聞き取りによると，西日本と北海道から入荷可能な状況で，

青森，秋田，酒田，塩竈など各輸送所からタンクローリーで各ガソリンスタンドに配送中。

- ・東北地方のタンクローリーは被災して数が減っているが，それを使って配送中で，東北以外のタンクローリーは現在輸送中だが，今週半ばから順次到着する。九州からのものは週末までかかるのではないかと。
- ・タンクローリーの不足が明白。日本海側からのピストン輸送なので，時間がかかりなかなか頻度が上がらなく，配送が低い水準に止まっている。
- ・県内の営業しているガソリンスタンドは少しずつ増加はしている。
- ・岩手県は一般の車両向けのガソリンスタンドは増えている。

○小林教育長

- ・児童生徒の死者56名，行方不明（連絡が取れないも含め）は児童と教職員で1,200名。

○千葉病院局長

- ・本日，循環器・呼吸器病センターにて石巻市の在宅者3名を受け入れた。

○伊藤企業局長

- ・仙南・仙塩広域水道の柴田船迫受水タンクに本日送水開始予定。
- ・蔵王町にて本日送水中に漏水事故発生。明日くらいに復旧予定。
- ・村田の受水地は本日送水開始。
- ・大崎広域水道の3箇所にて漏水が発生，今日までに修復しているが，送水が2～3日遅れる予定。

○村井災害対策本部長

・本日石巻市を視察し、天候の関係で総理とは会えなかったが、電話で直接話すことが出来、「皆さん本当にご苦労様です。国民のため被災民のために頑張ってもらいたい。予備費を最大限活用して支援をしていきたい。国としてやれることはやるので何でも相談して欲しい」と言ってもらった。

・物資については、石巻市方面を心配してしたが、総合運動公園の自衛隊の平坦基地を視察させてもらったところ、非常にスムーズに物資が行き渡るように自衛隊で管理をし、送ってもらっていることを確認でき、安心した。

・明日は週明けなので会議を2回実施するが、この会議で調整することも少なくなってきたので、明後日以降は本部会議を1日1回とする。

次回は3月22日10時00分に開催する。